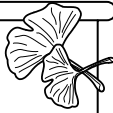
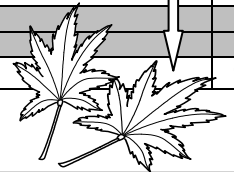


11月の主な行事予定



月	日	曜	内容	放課後 遊び
11月	1日	(日)		
	2日	(月)	児童朝会 学芸会会場設営(5・6年:6校時 1~4年:5時間授業)	○
	3日	(火)	文化の日	
	4日	(水)	音楽朝会(島節)	
	5日	(木)	避難訓練 放課後鼓隊	○
	6日	(金)	国際理解交流日 委員会活動	○
	7日	(土)	東京都教育の日	
	8日	(日)	新島中学校 文化祭	
	9日	(月)	児童朝会 クラブ活動	ふれあい週間 ○
	10日	(火)		○
	11日	(水)	開校記念日 音楽朝会(島節) カウンセラー来校	○
	12日	(木)		○
	13日	(金)		○
	14日	(土)		
	15日	(日)		
	16日	(月)	6時間授業	○
	17日	(火)		○
	18日	(水)	音楽朝会 学芸会係打ち合わせ(6年 6校時)	○
	19日	(木)	たてわり班体育館清掃	○
	20日	(金)	学芸会リハーサル カウンセラー来校	○
	21日	(土)	学芸会	
	22日	(日)		
	23日	(月)	勤労感謝の日	
	24日	(火)	振替休業日	
	25日	(水)	読書集会 6時間授業 カウンセラー来校 紅葉読書週間	○
	26日	(木)	就学時健診(5年のみ・6校時) 5年以外給食後下校	
	27日	(金)		○
	28日	(土)		
	29日	(日)		
	30日	(月)	児童朝会 放課後鼓隊	○

- 【生活指導目標】 相手の立場を考えて行動しよう
- 【安全指導目標】 校内での安全な過ごし方を考えよう
- 【保健指導目標】 みんなの心を大切にしよう



学芸会について

11月20日(金)に、学芸会のリハーサルを行います。今年度からはどなたでもご参観いただくことができます。なお、リハーサルでは、場合によっては演技を止め、子供達に指導をすることがありますので、ご承知おきください。各学年の上演時刻目安は、右記の予定です。

※学芸会当日は、上演時刻が多少前後することがあります。

時間	学年	時間
8:27	はじめのことば	2分半
8:30	幕をあげる歌	5分
8:35~9:00	2年	25分
9:00~9:30	3年	30分
9:30~10:05	5年	35分
10:25~10:50	2年	25分
10:50~11:20	4年	30分
11:20~11:55	6年	35分

新島 学びの庭

No. 94 11月号
平成27年10月30日
新島村立新島小学校
学校だより

人を育てる者として 己を磨く

～金メダリスト・山下泰裕氏の講演から～

校長 片岡 祥二

十月十五日・十六日に開催された全国へき地教育研究大会熊本大会に、東京都島しょ校長会の代表の一人として参加してきました。その第一日目に行われた記念講演では、ロサンゼルスオリンピックピックの金メダリストで、現在、東海大学副学長や全日本柔道連盟副会長等をなさっている山下泰裕氏の「人を育てる、人に育てられる ～柔道を通して学んだこれからの生き方～」と題するご講演を拝聴することができました。その内容は、私にとつて以前から認識していたものもありましたが、山下氏のお人柄や話術に魅了されたこともあり、とても心に響くものでした。この紙面を借りて、紹介させて頂きます……。

○柔道選手として引退後、大学で人を教える立場となり三十年近くなるが、いつも人から学ぶことが大切だと思つて教育活動に臨んでいる。

○自分はこれまで人から学び、成長してきた。そして、これからも学びながら成長していきたいと思つてい

る。最近特に接する機会が多くなった学生や若い先生方から学ぶことも、とても多い。

○人を教える立場にある人は己を磨くことが大切である。ところが、教育者と呼ばれている人や子供を育てる立場にある大人は、意識はあるものの自分を向上させたり改善したりすることについて、実際的にはなかなか取り組まない傾向が強いように感じている。

○私も今、人を育てる立場にある。人を育てるためにお役に立とうといういろいろな活動に取り組んでいるが、山下と出会ってよかった、山下に育てられたと思われるような人物になるよう自分に言い聞かせている。

○自分がそうであったように、これからの未来社会を担っていく子供達にいい出会い、いい教育を提供していくことができるような社会、そして大人、教育者をめざして皆さんと歩んでいきたい。

以前、自己変革を含め社会全体の変革の必要性が叫ばれ、「change」という言葉をよく耳にしました。山下氏の言葉にあるように、私自身も、その意識はあるものご自己を磨くことから逃避する傾向があり、なかなか実際の行動に取り組んでこなかったと反省しています。そして、「このあとも」あのときは反省はしたんだけど……とならないよう、皆さんからも学んだり、刺激やエネルギー等をいただいたりしながら、人を育てる者として己を磨き続けていきたいと思つています。本校の職員はもとより、保護者や地域の皆さん方にも「この指とまれ」をお願いできれば幸いです。

特別活動の取り組み

特別活動主任 鈴木 隼人

新小の特別活動の三本柱は、委員会・クラブ・たて割り班の活動です。今回は委員会についてお知らせします。

委員会活動 (四年生・六年生)
① 主な活動内容 ② 工夫していること (委員長として)

児童委員会 委員長 前田 美茂花さん

① 学校をよくするための活動。
② 挨拶運動の絵を描いてもらうなど、委員会以外の人にも学校のために活動できるような内容を考えている。

集会委員会 委員長 前田 紅亜さん

① レク集会の内容決め・朝会のマイク出し。
② 本で調べて、今まで実施していないゲームを考えている。

放送委員会 委員長 木村 琉泉さん

① 朝・昼・掃除・下校の放送を入れること。
② 当番を忘れないように、一週間ごとに放送のメンバーを変えるようにした。

図書委員会 委員長 釜 太陽さん

① 本の整理、本の貸し出し、よく本を読んでいる人の表彰。
② 雨の日は中休みも図書室を開放している。

保健給食委員会 委員長 前田 加桜さん

① トイレレットペーパーや石鹸のチェック、目標決め、月目標の発表。
② アドバイスができるように全てのグループに六年生が入った。

飼育栽培委員会 委員長 山崎 琢己さん

① チャボのお世話・野菜の栽培、畑の管理など。
② チャボのお世話を忘れないような仕組みを作った。

体育委員会 委員長 橋野 貴木さん

① 体育倉庫の掃除、体育朝会、運動会での体操など。
② 掃除しているかをチェックしたり、忘れないように声かけをしている。

委員会活動前に話し合っって活動内容を決め、主体的に活動しています。引き続き六年生を中心に、協力しながら学校のための活動をしていってほしいと思います。

～運動会を終えて～

◇1, 2年「なんじゃ☆だれじゃ☆にいにんじゃ」

「上級忍者目指してがんばろぞ！」

体育の表現遊びで忍者に変身するところからスタートした今回の運動会団体演技。子供達は、リズムに体を乗せ、毎回楽しみながら練習に取り組みました。統一したダンスに加え、自分で動きを考えたり、ポーズをグループで決めたりしながら作り上げました。赤忍者と黄忍者に身を扮し、本番は、どの忍者もかっよくビシッと踊りきりました。



◇3, 4年「DANCE DE 一輪車」

今年のテーマは、「努力 協力 楽しく！」

1学期から始まった一輪車の練習。子供達は休み時間や休みの日も一生懸命に練習していました。2学期になると、具体的な技の練習に取りかかりました。1人でする時とは違い、多人数でする技は呼吸を合わせなければなりません。何回も何回も失敗しました。そんな時、支えてくれるのは、隣にいる友達の言葉でした。仕上げは、ダンスです。初めは恥ずかしがっていた子供も、やがて笑顔になっていきました。上手に踊るのではなく、楽しく踊ることが大切だと気付いたようです。休日練習や衣装の準備等、沢山のご支援ご協力をいただきました。子供達の大成功のかけには、そんな地域・保護者の方々の方がいるのだなあと、つくづく実感しました。ありがとうございました。



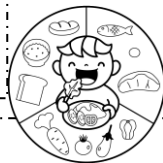
◇5, 6年「絆の結晶 (組体操)」

今年の組体操のタイトル「絆の結晶」は、6年生が話し合っって決めました。新島小学校をリードする高学年として絆の大切さを示すことができると願っって付けたタイトルです。

今年の組体操のテーマである、「己に勝つ」を成し遂げるため、努力を避けてしまう自分に勝ち、自分のこと、友達のことを信じ切ることができない自分にも勝ち、殻を打ち破って成長することを目指して練習に取り組みました。一人技から、新島小学校初の五段タワーまで、指先、視線、姿勢を意識して精一杯演じました。



今年度の運動会は、あいにくの天気のため、午後のプログラムを一部変更して行う形となりました。その中でも、子供達はもてる力を出し切っってがんばりました。この力を、今後の生活にも生かしていっってくることを期待しています。



給食づくりで心掛けていきます

栄養士 多久和 絵梨果

給食センターでは、調理員六名、栄養士一名の計七名で小中学校約二〇食分の給食を作っています。子供達に、安全でおいしい給食を届けるために次のことに気をつけています。

① 衛生管理の徹底

食中毒予防の三原則、つけない・増やさない・やっつける、に沿っって、徹底的に衛生管理を行っています。野菜は水を替えて三回洗い、できあがったスープやおかずなどは、温度を測定して食中毒に関わる細菌が死滅する八五度以上になっていることを確認しています。

② 安全な食品を使用すること

インスタント食品や既製品は使わず、できる限り、無添低農薬の食品を使用しています。

③ 手作りすること

鯉節や昆布、豚骨などを使っってだしをとるため、市販のコンソメや顆粒だしは、いっっさい使っっていません。また、カレーやシチューなどのルーも小麦粉をバターで炒めて手作りしています。ゼリーやコロッケなどもすべて手作りしています。何が入っっているのかすべて分かるので、安心です。

④ 旬の味を使用すること

日本には四季があります。季節によっっておいしいものを食べることで、環境にもやさしく、四季を感じられます。また、日本の伝統的な行事食も、積極的に取り入れています。



これからも、職員一同協力して、安全でおいしい給食づくりに励んでいきます。よろしくお願ひいたします。